

自然に親しむ

対象学年

園児・小学校・中学校

ソリ・チュービング



プログラムの概要

国立妙高青少年自然の家の敷地内に設定されたソリコースで、ソリやチュービングといった道具を使って斜面を滑り下ります。安全面での配慮が必要な活動です。天候などの自然環境の変化によるソリコースの雪質の変化とソリの滑り方の変化などを体感したり、ルールを守って安全に活動したり、仲間と楽しく活動するためのマナーなどについて体験しながら学びます。

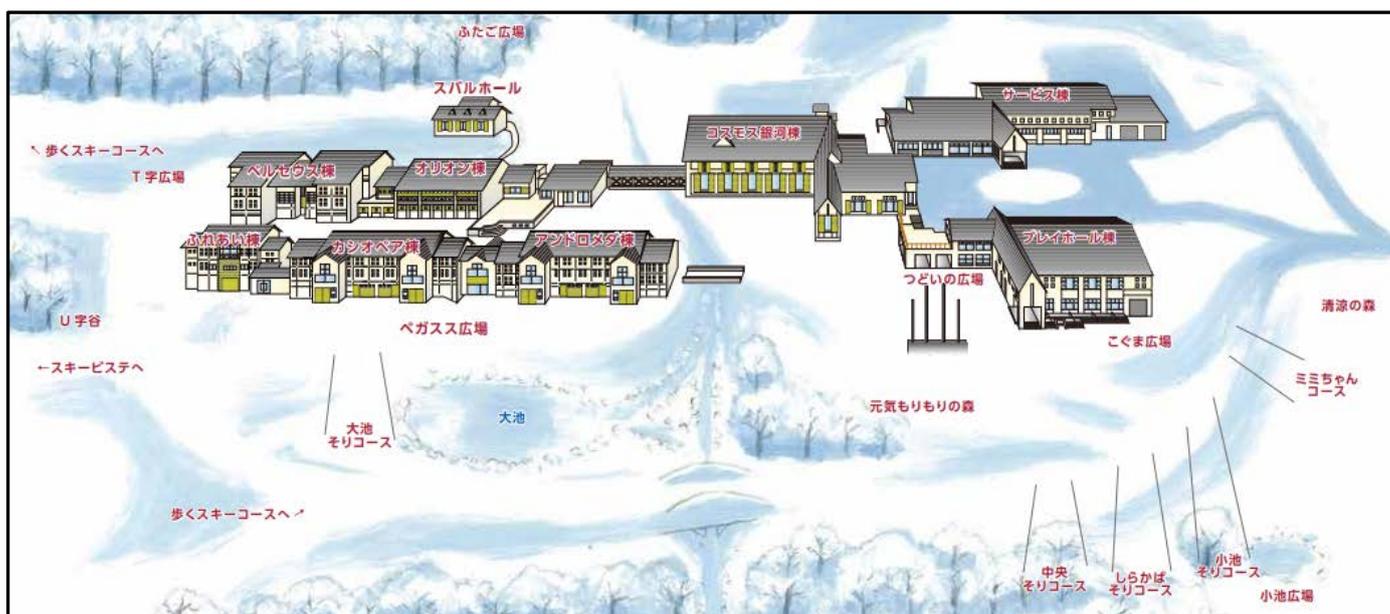
独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立妙高青少年自然の家

1 活動のねらい

- 雪国の遊びを体験する。
- ルールやマナーを守って、仲間と安全に楽しく遊ぶことを学ぶ。

2 活動のフィールド（人数が多い団体は、広場を使った雪遊びと併せて活動することがお勧めです）

- 大池そりコース（ペガサス広場での活動とセットで使用が可能）
- 中央そりコース
- しらかばそりコース } （つどいの広場・元気もりもりの森・こぐま広場での活動とセットで使用が可能）
- 小池そりコース } （小池広場での活動とセットで使用が可能）
- ミミちゃんそりコース（幼児・ファミリー優先のソリコース）



3 準備品 *物品の貸出・返却方法については、4ページ目参照

ソリ

スノーチューブ

ヒップ

スティック付きソリ



お願いと注意！

- 破損の多い物品です。丁寧に扱ってください。
- 借りる時には破損していないかを確認してください。
- 破損・紛失があった場合には事務室に連絡をしてください。
→状況によっては、弁償の対象になります。

「ソリ・チュービング」はとても楽しい冬季活動です。また、雪国の遊びとして、ぜひ子供たちに体験してほしいプログラムです。しかし、**事故・ケガがとても多い活動**でもあります。道具の使い方やコースの使用法、予測される危険な場面を指導者のみなさんがよく理解し、子供たちにルールをきちんと伝え、たうえて活動をしていただきたいと思います。

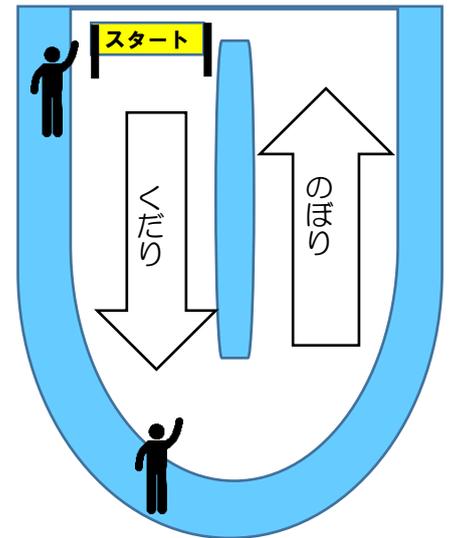
1は、子どもたちに伝えてください。

2～3は、引率されている指導者の皆さんで共通理解してください。

1 ソリ・チュービングのルール

- 1人乗り。**2人(以上)乗りは禁止。**
 - *小さいお子さんや特別な配慮が必要な場合には、2人乗りについて職員にご相談下さい。
- 立ち乗りは禁止。
 - *ケガ、コースの荒れ、用具の破損につながるため。
- 勢いをつけたり、押ししたりしてスタートしない。
- 子どもだけで活動しない。
- コース内にジャンプ台を作らない。
- くだりのコースを歩かない。
- コース中央の壁やコース脇(図水色の部分)を踏み荒らさない。

※雪の壁は、コース周辺の池に落ちたり、木にぶつかったりしないために作っています。
安全のために必要なものです。



2 活動の手順

- ①引率者がまず試走をする。
滑りすぎる場合(スピードが速い、コースアウトしてしまう)は、スタート位置を下げる。
- ②スタート位置とくだりのコースの下に引率の方について安全管理をする。
ソリコース下：滑り終わった人がくだりのコース上に残っていないことを確認して、スタート位置にいる人に伝える。
スタート位置：安全を確認してスタートの合図を出す。
- ③スタート位置から一人ずつ滑る。
- ④ソリから降りて戻る。

3 注意事項

- 活動前にソリコースの情報を事務室で確認してください。
- 自然の家では、毎朝ソリコースを点検し安全を確認しています。しかし、コースの雪の状況は変化しますので、直前の状況を各団体で確認してください。
- ソリコースは、穴が開いたり、デコボコしはじめたりすると、急激に溶け始めますので、上記3つのルールを守って活動してください。

冬季活動物品の貸出・返却のながれ

①物品の確認

〔スキールーム前〕

- ・物品貸出一覧表（スキールーム前テーブル上）で、事前に申し込んだ物品と数を確認する。

②物品を持ち出す

〔スキールーム〕

- ・物品に**破損がないかを確認**して持ち出す。
*物品と数を変更する時には、事務室〔内線 220〕にご相談ください。
*そり大を運搬用に利用すると便利です。

③報告〔内線 220〕

- ・貸出ボードの〔実数〕欄に実際の数を入力し〇で囲む。
- ・内線 **220** で事務室に連絡し、**団体名・貸し出した物品と数を報告**する。

④利用中

雪上・雪の降る中での活動では、**物品が雪の中に埋もれてなくなる**ことがあります。**バケツや運搬用ソリを活用**してなくならないように工夫しましょう。

*数日間同じ物品を利用する時には、クラフトルームにおいておくことができます。その際、クラフトルームにおいてある紙に、団体名を記入し物品の上に置いておきましょう。

⑤返却前

〔屋外で行うこと〕

- ・雪をよく落としてから、室内に入れる。

⑥点検の依頼

〔内線 220〕

- ・内線 **220** で事務室に連絡し**団体名と返却の点検の依頼**を伝える。
- ・点検の場所は、スキールーム付近、クラフトルームで行います。
- ・職員と一緒に、**物品と数の確認、破損の有無の確認**をする。

⑦返却

〔スキールーム〕

- ・**点検後に、スキールームに返却**する。

注意！ スキールーム内の物品の貸出返却時間は、8:30～17:00 です。

ゼッケンの貸出・返却は、「事務室」です。

「おもいやりのリレー運動」

- ・物品は丁寧に扱きましょう。
- ・破損した場合には、点検時に申し出てください。→破損の状況によっては、弁償していただく場合もあります。

ねらい別 活動プログラム集 「ソリ・チューピング」

発行日 平成 29 年 11 月 1 日

発行 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家